

萬松山 承天寺

金澤翔子書展

心がその手から流れる・・・魂の書



金澤翔子サイン会

5月15日(日) 午後2時～午後4時

承天寺石庭

- 平成28年5月14日(土)～5月19日(木)
開館時間 午前10時～午後5時 (5月15日の一般公開は14時より開場)
- 承天寺 博多駅前1-29-9 承天寺通り
- 一般 800円(前売600円)

チケットぴあ Pコード: 767465
ローソンチケット Lコード: 81948

※障がい者手帳等の交付を受けている方およびその介護者1名までは無料・中学生以下無料
会期中着物でご来場の方は無料

主催: 御供所まちづくり協議会 共催: アート企画

5月15日(日) イベント開催

特別入場料：1000円



無垢なる魂の書家
金澤翔子

10:30 承天寺通り 親子 De 着物ウォーク・ショー
着物で ご来場の親子ペアの方々に、千年門から中門前までの赤カーペットを金澤親子に続いて歩いて頂き、奉納揮毫が行われる方丈へとご案内いたします。

11:00 金澤翔子先生 席上揮毫
(限定 200名 お申し込みが必要です)

アート企画：092-433-5162

11:30～12:00 金澤泰子親子トークショー
※きものレンタルまゆの会より、障がいのある方との親子ペア先着 10組の方に、無料で着物レンタルと着付けをさせていただきます。

お問合せ：アート企画 Tel 092-433-5162

※一般親子様も特別サービスが受けられますのでお問合せ下さい。

お問合せ：まゆの会 Tel 092-735-1758

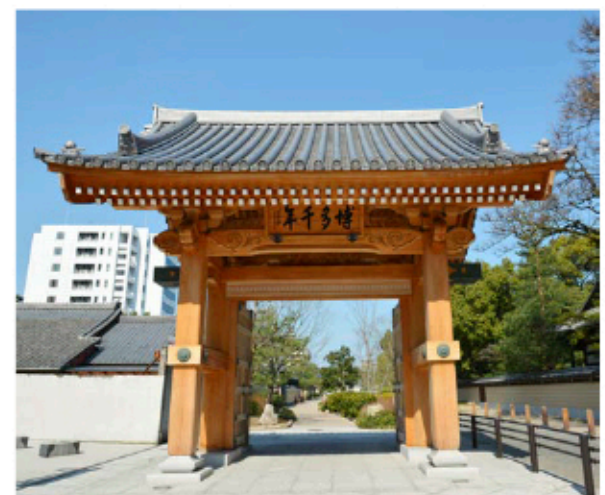
14:00～16:00 一般開場 サイン会
(オリジナル図録をご購入下さい。)

金澤翔子プロフィール

- 1985年 21番染色体が一本多いダウン症に生まれ、5歳のときより母、泰子に師事し、書道を始める
- 2005年 20歳で銀座書廊において、初の個展を開催その後、建長寺、建仁寺、東大寺、中尊寺などで個展を開催、厳島神社などで奉納揮毫
- 2012年 NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫
- 2013年 東京国体開会式において巨大文字を揮毫 紺綬褒章受章。天皇御製を謹書
- 2015年 愛媛県今治市仙遊ぶ寺にて30歳の記念の作品である般若心経の大作(4×16m)を制作
- 2015年 国連「世界ダウン症の日」の会議で日本代表としてスピーチ、ニューヨークで個展開催
- 2015年 愛媛県美術館にて30歳の記念展覧会「金澤翔子書展」開催
- 2015年 太宰府天満宮において、奉納席上揮毫・金澤翔子書展を開催

宮司、西高辻信良氏によるものです。

博多千年門(はかたせんねんのもん)
博多を訪れた観光客を歴史的的文化財が多く残る博多の寺社町エリアへと導くウエルカムゲートです。博多の繁栄を願う地域住民、地元企業、行政が一体となって建設に取り組み、平成26年3月に完成しました。
歴史的文献によれば、博多から大宰府政庁へ延びる官道には、江戸時代に「辻堂口門(つじのどうぐちもん)」と呼ばれる博多の入り口となる門が存在していたようです。
門はかつての「辻堂口門」にならった木造の四脚門様式で、切妻本瓦葺(きりづまほんかわらぶき)、中世博多の寺社様式となつています。門扉の板材には、太宰府天満宮より寄贈された樹齢千年の「千年樟(せんねんぐす)」を用い、欄間には博多織の献上柄模様(せんねんぐす)が刻まれています。
また、承天寺通りは、車道を小川に、歩道をその川岸の遊歩道に見立てた造りとなつて、承天寺の仏殿と方丈を結ぶ石畳は石橋をイメージしています。
この門は博多の古い歴史を大切にし、これからの千年の繁栄を願つてのものであり、門の表に掲げられた扁額「博多千年」の揮毫(きこう)は菅原道真の子孫にあたる太宰府天満宮宮司、西高辻信良氏によるものです。



- 主催：御供所まちづくり協議会 / 共催：アート企画
- 後援：福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡観光コンベンションビューロー、博多千年門振興会、博多まちづくり推進協議会、博多織工業組合、博多祇園山笠振興会、(株)遊匠福岡市菓子協同組合、西日本シティ銀行、西日本新聞社西日本新聞民生事業団、日本ダウン症協会福岡支部
- 協賛：きものレンタルまゆの会、大建工業(株)福岡ショールーム(株)山口油屋福太郎、(一社)日本漢字習熟度検定協会(株)ヒューコネクト、プレジデントホテル博多、(株)ひよこ
- 協力：御供所町名店会、アクティブシニア交流会
- 企画制作 / 運営事務局：アート企画
- お問合せ先：アート企画 Tel 092-433-5162
福岡市博多区博多駅前 2-11-22-604
artkikaku111@gmail.com 岩本 090-8227-3939